

令和7年度 東京都立新宿山吹高等学校 通信教育実施計画

教科	国語	レポート通数	6	対象	全生徒
科目	現代の国語	必要面接指導時数／実施時数	2 / 16		
単位数	2	試験	前期・後期 各1回		

教科書	新編 現代の国語（東京書籍）
学習書等	新編 現代の国語 学習書
その他	なし

○教科（国語）の目標

知識及び技能	生涯にわたる社会生活において、必要となる国語の特質を理解し、適切に使うことができる。
思考力・判断力・表現力等	生涯にわたる社会生活において、批判的思考を働かせて自分の思いや考えを広げたり深めたりし、伝えることができる。
学びに向かう力、人間性等	言葉の価値を理解して言語感覚を磨き続けるとともに、言葉を通じて他者と関わり、思いや考えを深めていこうとする態度を身に付けている。

○科目（現代の国語）の目標

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
実生活に必要なとなる国語の知識や技能を身に付ける。	生涯にわたる社会生活において、批判的思考を働かせて自分の思いや考えを広げたり深めたりし、伝えることができる。	言葉の価値への認識を深めて言語感覚を磨き、言葉を通じて他者や社会に関わろうとする態度を養う。

○ 評価の方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
添削課題の取組、定期試験	添削課題の取組、定期試験	添削課題の感想欄の記述 自由課題の提出

※ 単位の修得は、定められた通数のレポートに合格し、必要面接指導時数を満たし、学期末の定期試験を受験した上で、各観点の目標の達成状況が十分と判断されれば認められる。各観点の達成状況は上記の評価に基づいて評価する。

○年間指導計画

月	単元	単元の具体的な指導目標	教科書・学習書 該当ページ	添削 課題	提出 期限	面接指導	メディア利用 (NHK高校講座)
5	「文と文の関係（情報同士の関係）を考える」	【知識及び技能】 ・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解することができる。〔(1)オ〕 ・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について 理解し使うことができる。〔(1)カ〕 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解することができる。〔(2)ア〕 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。〔C(1)ア〕 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めて言語感覚を磨き、言葉を通じて他者や社会に関わろうとする。	教科書 P12～17 学習書 P8～16	第1回	5/27	第1回 「語彙を豊かにする」 第2回 「文と文の関係性」	第1回 「自分を伝え、相手を知ろう」
6	「論理的に意見を書く」	【知識及び技能】 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解することができる。〔(1)ア〕 ・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解することができる。〔(1)オ〕 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解することができる。〔(2)イ〕 【思考力、判断力、表現力等】 ・読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫することができる。〔B(1)イ〕 ・目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めることができる。〔C(1)イ〕 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めて言語感覚を磨き、言葉を通じて他者や社会に関わろうとする。	教科書 P33～37 学習書 P17～36	第2回	6/24	第3回 「文の構成に注目しよう」 第4回 「文章を読み比べよう」	第6回 「読み比べて考えよう」

7	「経験を語り継ぐ」	【知識及び技能】 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色，用法及び表記の仕方などを理解し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにすること。〔(1)エ〕 ・推論の仕方を理解し使うこと。〔(2)ウ〕 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え，要旨や要点を把握することができる。〔C(1)ア〕 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めて言語感覚を磨き、言葉を通じて他者や社会に関わろうとする。	教科書 P150～157 学習書 P56～60	第3回	7/22	第5回 「筆者の考えを読み取ろう」 第6回 「戦争を語り継ごう」	第8回 「経験を語り継ぐ」
10	「情報を関連付けて自分の意見をつくる」	【知識及び技能】 ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うこと。〔(2)エ〕 ・引用の仕方や出典の示し方，それらの必要性について理解を深め使うことができる。〔(2)オ〕 【思考力、判断力、表現力等】 ・読み手の理解が得られるよう，論理の展開，情報の分量や重要度などを考えて，文章の構成や展開を工夫することができる。〔B(1)イ〕 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるよう，根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに，文章の種類や，文体，語句などの表現の仕方を工夫することができる。〔B(1)ウ〕 ・目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて，文章全体を整えたり，読み手からの助言などを踏まえて，自分の文章の特長や課題を捉え直したりすることができる。〔B(1)エ〕 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めて言語感覚を磨き、言葉を通じて他者や社会に関わろうとする。	教科書 P68～77 学習書 P27～31	第4回	10/28	第7回 「論の展開に注目しよう」 第8回 「自分の考えを深めよう」	第16回 「論理的ってどういうこと？」
11	「随想的な文章を読む」	【知識及び技能】 ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うことができる。〔(2)エ〕 ・引用の仕方や出典の示し方，それらの必要性について理解を深め使うことができる。〔(2)オ〕 【思考力、判断力、表現力等】 ・目的や意図に応じて，実社会の中から適切な題材を決め，集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して，伝えたいことを明確にすることができる。〔B(1)ア〕 ・読み手の理解が得られるよう，論理の展開，情報の分量や重要度などを考えて，文章の構成や展開を工夫することができる。〔B(1)イ〕 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めて言語感覚を磨き、言葉を通じて他者や社会に関わろうとする。	教科書 P110～115 学習書 P50～55	第5回	11/26	第9回 「筆者の経験や感じたことを理解しよう」 第10回 「働くということについて考えよう」	第9回 「憧れのプロにインタビュー」
12 ～ 1	「筆者の考えを適切に理解し、自分の考えを深めよう」	【知識及び技能】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割，表現の特色を踏まえ，正確さ，分かりやすさ，適切さ，敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し，使うことができる。〔(1)イ〕 【思考力、判断力、表現力等】 ・話し言葉の特徴を踏まえて話したり，場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど，相手の理解が得られるように表現を工夫することができる。〔A(1)ウ〕 ・論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりすることができる。〔A(1)エ〕 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めて言語感覚を磨き、言葉を通じて他者や社会に関わろうとする。	教科書 P142～149 学習書 P67～73	第6回	12/23	第11回 「論の展開に注目しよう」 第12回 「自分の考えを深めよう」	第20回 「言葉を使って生きていく」

令和7年度 東京都立新宿山吹高等学校 通信教育実施計画

教 科	国語	レポート通数	6	対 象	全生徒
科 目	言語文化	必要面接指導時数／実施時数	2 / 16		
単位数	2	試験	前期・後期 各1回		

教科書	新編 言語文化（東京書籍）
学習書等	新編 言語文化 学習書
その他	なし

○教科（国語）の目標

知識及び技能	生涯にわたる社会生活において、必要となる国語の特質を理解し、適切に使うことができる。
思考力・判断力・表現力等	生涯にわたる社会生活において、批判的思考を働かせて自分の思いや考えを広げたり深めたりし、伝えることができる。
学びに向かう力、人間性等	言葉の価値を理解して言語感覚を磨き続けるとともに、言葉を通じて他者と関わり、思いや考えを深めていこうとする態度を身に付けている。

○科目（言語文化）の目標

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
・古典における文法や、現代文における表現等、言語に関する事項を的確に理解することができる。 ・作品に描かれる人物の心情などを、根拠を明らかにしながら読み解き、それを適切に説明することができる。	古典や現代の小説、詩歌、随筆などを的確に読み解くことを通して、社会や文化に対する考えを深め、より広い視野をもってものごとを判断する力を伸ばす。	作品に描かれる出来事や人物等を通して、現代に生きる自分自身や社会の有り様を見つめなおそうとする姿勢が見られる。

○ 評価の方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
添削課題の取組、定期試験	添削課題の取組、定期試験	添削課題の取組、自由課題の提出

※ 単位の修得は、定められた通数のレポートに合格し、必要面接指導時数を満たし、学期末の定期試験を受験した上で、各観点の目標の達成状況が十分と判断されれば認められる。各観点の達成状況は上記の評価に基づいて評価する。

○年間指導計画

月	単元	単元の具体的な指導目標	教科書・学習書 該当ページ	添削 課題	提出 期限	面接指導	メディア利用 (NHK高校講座)
5	古典読解の基礎を理解する	【知識及び技能】 古文における単語の分類や、歴史的仮名遣いなどを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 古典を学び言語に対する考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 言語と文化の関わりに興味を持つ。	教科書 P128～129, 124～125、134～136 学習書 P88～90	第1回	5/27	第1回 「古文の文法について①」 第2回 「古文の文法について②」	第1回 「古文に親しむ」
5	古文の読みを深める	【知識及び技能】 用言の活用や、文法的意味合いを適切に理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 古文の的確な読みから考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 古文の世界における人間観などを理解する。	教科書 P134～136、122～123 学習書 P88～90、74～77	第1回	5/27	第3回 「宇治拾遺物語/児のそら寝を読む」	第2回 「宇治拾遺物語 児のそら寝(1)」 「宇治拾遺物語 児のそら寝(2)」
5 ～ 6	漢文の訓読	【知識及び技能】 漢文を適切に訓読する。 【思考力、判断力、表現力等】 漢文を通して、社会に対する知見を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 漢文が日本語に与えた影響を適切に理解しようとしている。	教科書 P210～219 学習書 P175～177	第2回	6/24	第4回 「漢文について（訓読①）」 第5回 「漢文について（訓読②）」	第9回 「訓読の基本(1)訓読」 第10回 「訓読の基本(2)格言」
7 ～ 9	詩歌	【知識及び技能】 詩歌作品における技法などを適切に理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の世界をより深く理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 豊かな言語文化を身に付ける。	教科書 P164～166 50～56、154～162 学習書 P26～42	第3回	7/22	第6回 「和歌・短歌について①」 第7回 「和歌・短歌について②」 第8回 「前期まとめ」	第14回 「折々のうた(1)」 第15回 「折々のうた(2)」

10	文学作品を読む	【知識及び技能】 文学的な教養を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 豊かな表現を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な文章表現に興味をもつ。	教科書 P 72～87 学習書 P 52～57	第 4 回	10/28	第 9 回 「小説を読む①」 第 1 0 回 「小説を読む②」	第 2 0 回 「羅生門(1)」 第 2 1 回 「羅生門(2)」 第 2 2 回 「羅生門(3)」
10 ～ 11 1	文学作品を深く読む	【知識及び技能】 文学作品を根拠を基に適切に読み解ける。 【思考力、判断力、表現力等】 文学を通して、自身に対する考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 文学作品を様々な視点から読み解こうとしている。	教科書 P 72～87 学習書 P 52～57	第 4 回	10/28	第 1 1 回 「小説を様々な視点から読み解く」	第 2 3 回 「羅生門(4)」 第 2 4 回 「羅生門(5)」
11 ～ 12 2	古文の読みを深める	【知識及び技能】 古文・漢文を適切な文法理解を基に読解する。 【思考力、判断力、表現力等】 漢文を通して、考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 古文・漢文と現代の社会を関連付けながら学ぶ。	教科書 P 170～171 学習書 P 133～137	第 5 回	11/26	第 1 2 回 「古文の読みを深める」 第 1 3 回 「伊勢物語/芥川 を読む」 第 1 4 回 「漢詩の決まりを理解する」	第 2 5 回 「伊勢物語 芥川 (1)」 第 2 6 回 「伊勢物語 芥川 (2)」
12 ～ 13 1	言語と文化の関わりを学ぶ（漢文・漢詩）	【知識及び技能】 様々な古今の文章を読み解くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 言語を適切に使って、より深い考えを表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 言語と文化の関わりから、社会の在り方を考える。	教科書 P 227～236 学習書 P 190～192, 196～199	第 6 回	12/23	第 1 5 回 「漢文・漢詩に親しむ」 第 1 6 回 「言語と文化の関わり～漢詩と日本文学～」	第 1 7 回 「漢詩 春暁（孟浩然）」 第 1 9 回 「漢詩と日本文学」

令和7年度 東京都立新宿山吹高等学校 通信教育実施計画

教科	国語	レポート通数	1 2	対象	主に2年次以降の生徒
科目	論理国語	必要面接指導時数／実施時数	4 / 2 4		
単位数	4	試験	前期・後期 各1回		

教科書	新編 論理国語（東京書籍）
学習書等	なし
その他	なし

○教科（国語）の目標

知識及び技能	生涯にわたる社会生活において、必要となる国語の特質を理解し、適切に使うことができる。
思考力・判断力・表現力等	生涯にわたる社会生活において、批判的思考を働かせて自分の思いや考えを広げたり深めたりし、伝えることができる。
学びに向かう力、人間性等	言葉の価値を理解して言語感覚を磨き続けるとともに、言葉を通じて他者と関わり、思いや考えを深めていこうとする態度を身に付けている。

○科目（論理国語）の目標

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
近代以降の論理的な文章及び現代の社会生活に必要とされる実用的な文章を読み、実生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける。	文章の構成や展開を理解し、論理的に考えることや想像したり文章を比較したりして批判的にとらえる力を伸ばし、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉の価値への認識を深めて言語感覚を磨き、言葉を通じて他者や社会に関わろうとする態度を養う。情報や根拠をもとに自分の意見を論理的に伝えることができる。

○ 評価の方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
添削課題の取組、定期試験	添削課題の取組、定期試験	添削課題の取組、自由課題の提出

※ 単位の修得は、定められた通数のレポートに合格し、必要面接指導時数を満たし、学期末の定期試験を受験した上で、各観点の目標の達成状況が十分と判断されれば認められる。各観点の達成状況は上記の評価に基づいて評価する。

○年間指導計画

月	単元	単元の具体的な指導目標	教科書・学習書 該当ページ	添削 課題	提出 期限	面接指導	メディア利用 (NHK高校講座)
5	「対比に注意して評論を読む」	【知識及び技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。〔(1)イ〕 ・文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深める。〔(1)エ〕 【思考力、判断力、表現力等】 ・個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫する。対比構造の内容を的確に理解する。〔A (1)オ〕 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めて言語感覚を磨き、言葉を通じて他者や社会に関わろうとする。	教科書 P 5 6～7 1 学習書 P 3 2～3 7	第1回	5/20	第1回 「対比に注意して筆者の主張を読み取る①」	第1 5回 「学ぶことと人間の知恵（広中平祐）(1)」 第1 6回 「学ぶことと人間の知恵（広中平祐）(2)」
5 ～ 6	「接続詞の働きを理解し、筆者の主張を読み取る」	【知識及び技能】 ・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解することができる。〔(1)オ〕 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解することができる。〔(2)ア〕 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。〔C(1)ア〕 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めて言語感覚を磨き、言葉や対話を通じて他者や社会に関わろうとする。	教科書 P 8～1 3、 1 1 4～1 2 1 学習書 P 8～1 3	第2回 第3回	6/3 6/17	第2回 「筆者の主張を読み取る②」 第3回 「筆者の主張を読み取る③」	第6～8回 「対話とは何か（細川英雄）(1)～(3)」

6	「体験に基づく文章を読み、筆者の考えを捉える」	【知識及び技能】 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解する。〔(1)ア〕 【思考力、判断力、表現力等】 ・社会的な話題について書かれた論説文やその関連資料を読み、それらの内容を基に、自分の考えを論述したり討論したりすることができる。〔B(2)イ〕 ・人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深める。〔B(1)カ〕 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めて言語感覚を磨き、言葉を通じて他者や社会に関わろうとする。	教科書 P 1 8 6 ～ 1 9 2	第 4 回	7/1	第 4 回 「体験に基づく文章を読み筆者の考えを捉える」	第 2 2 ～ 2 3 回 「物語の外から（岸政彦）(1)～(2)」
7	「複数の評論を読み、自分の考えを深める」	【知識及び技能】 ・文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めることができる。〔(1)エ〕 【思考力、判断力、表現力等】 ・多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にすることができる。〔A (1)エ〕 ・文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価することができる。〔B (1)エ〕 ・設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりすることができる。〔B (1)キ〕 【学びに向かう力、人間性等】 身近な具体例をもとに展開される論を理解し、複数の文章を読み比べ自分の考えを深めようとしている。	教科書 P 2 3 2 ～ 2 3 8 2 6 2 ～ 2 6 9	第 5 回 第 6 回	7/15 7/31	第 5 回 「論理的文章を読む①」 第 6 回 「論理的文章を読む②」	第 6 0 ～ 6 2 回 「知識における作者性と構造的性（吉見俊哉）(1)～(3)」 第 6 3 ～ 6 5 回 「言葉は『ものの名前』ではない（内田樹）(1)～(3)」
9 （ 1 1	「自分と結びつけて評論を読み、ものの見方を広げる」	【知識及び技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。〔(1)イ〕 【思考力、判断力、表現力等】 ・人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深める。〔B(1)カ〕 ・設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりする。〔B(1)キ〕 【学びに向かう力、人間性等】 文章の内容について、社会的背景と共に理解しようとする。	教科書 P 3 7 ～ 4 3 2 4 9 ～ 2 5 2 9 3 ～ 1 0 0	第 7 回 第 8 回 第 9 回	10/21 11/5 11/18	第 7 回 「抽象と具体を読み分ける」 第 8 回 「実用的な文章」 第 9 回 「仮説と検証を理解する」	第 9 ～ 1 1 回 「ふしぎということ（河合隼雄）(1)～(3)」 第 3 8 ～ 3 9 回 「図表の読み取り方(1)～(2)」 第 5 2 ～ 5 4 回 「仮説を立てて検証しよう(1)～(3)」
1 1 （ 1	「評論を読みの確に理解し、内容の認識を深める」	【知識及び技能】 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解する。〔(1)ア〕 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類や具体例を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉える。〔B(1)イ〕 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めて言語感覚を磨き、言葉を通じて他者や社会に関わろうとする。	教科書 P 1 6 2 ～ 1 6 6 2 1 0 ～ 2 1 8, 3 2 2, 2 5 9 ～ 2 6 0 2 7 1 ～ 2 7 9, 2 9 1 ～ 3 0 1	第 1 0 回 第 1 1 回 第 1 2 回	12/2 12/16 1/7	第 1 0 回 「論理的文章の読解①」 第 1 1 回 「小論文を書こう」 第 1 2 回 「論理的文章の読解②」	第 6 9 ～ 7 1 回 「もう一つの知性（姜尚中）(1)～(3)」 第 7 3 ～ 7 6 回 「未来のありか（若林幹夫）(1)～(4)」

令和7年度 東京都立新宿山吹高等学校 通信教育実施計画

教科	国語	レポート通数	1 2	対象	主に2年次以降の生徒
科目	国語表現	必要面接指導時数／実施時数	4 / 24		
単位数	4	試験	前期・後期 各1回		

教科書	国語表現（東京書籍）
学習書等	なし
その他	なし

○教科（国語）の目標

知識及び技能	生涯にわたる社会生活において、必要となる国語の特質を理解し、適切に使うことができる。
思考力・判断力・表現力等	生涯にわたる社会生活において、批判的思考を働かせて自分の思いや考えを広げたり深めたりし、伝えることができる。
学びに向かう力、人間性等	言葉の価値を理解して言語感覚を磨き続けるとともに、言葉を通じて他者と関わり、思いや考えを深めていこうとする態度を身に付けている。

○科目（国語表現）の目標

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
国語における表現や語彙を豊かにし、適切な表現技法を身に付ける。	自身の考えや意見を、適切な表現を用いて表現し、他者に伝えることができる。	積極的に様々な文章を書き、適切に表現する力を身に付けようとしている。

○ 評価の方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
添削課題の取組、定期試験	添削課題の取組、定期試験	添削課題の感想欄の記述 自由課題の提出

※ 単位の修得は、定められた通数のレポートに合格し、必要面接指導時数を満たし、学期末の定期試験を受験した上で、各観点の目標の達成状況が十分と判断されれば認められる。各観点の達成状況は上記の評価に基づいて評価する。

○年間指導計画

月	単元	単元の具体的な指導目標	教科書・学習書 該当ページ	添削 課題	提出 期限	面接指導	メディア利用 (NHK高校講座)
5	「分かりやすく説明しよう」	【知識及び技能】 適切な表現を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 順序だてて考えをまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 多様な表現に触れる。	教科書 P16～21	第1回	5/20	第1・2 「場面に応じた適切な表現を学ぼう」	第2回 「表記のしかた」 第3回 「語句の用法と文のくぎり方」 第4回 「文章のリフォーム―推敲（すいこう）」
5	「分かりやすく説明しよう」	【知識及び技能】 適切な表現を的確に使う。 【思考力、判断力、表現力等】 順序だてて考えを展開する。 【学びに向かう力、人間性等】 多様な表現を理解する	教科書 P26～29	第2回	6/3	第3・4回 「情報を伝える順序を考え、接続詞を意識しよう」	第5回 「わかりやすい説明の方法」
6	「分かりやすく説明しよう」	【知識及び技能】 語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 読み手のことを考えて表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 適切な表現をしようとしている。	教科書 P30～31	第3回	6/17	第5・6回 「情報を整理して伝達しよう」	第36回 「メディアの特性を知る」 第37回 「広告というメディアを読む」 第38回 「情報を編集する」
6	「場に応じた表現を身につけよう」	【知識及び技能】 敬語を適切に使用する。 【思考力、判断力、表現力等】 場に応じた表現をする。 【学びに向かう力、人間性等】 適切な表現をしようとしている。	教科書 P210～211	第4回	7/1	第7・8回 「敬語を適切に使いこなそう」	第13回 「待遇表現」
7	「『自分』を表現しよう」	【知識及び技能】 様々な表現を適切に使い分けている。 【思考力、判断力、表現力等】 国語を適切に表現できている。 【学びに向かう力、人間性等】 適切な表現を使い分けている。 意欲的に多様な表現を用いている。	教科書 P66～81	第5回	7/15	第9・10回 「自己PR文を書いてみよう」	第15回 「自分を知る・相手を知る」 第16回 「模擬面接をする」

7 ～ 9	「論理的な文章 を書こう」	【知識及び技能】 文脈に応じた表現ができています。 【思考力、判断力、表現力等】 論理的な思考ができています。 【学びに向かう力、人間性等】 論理的に考えをまとめようとしている。	教科書 P 82～107	第 6 回	7/31	第 1 1 ・ 1 2 回 「小論文を書いてみ よう」	第 6 回 「意見を論理的に述 べる」 第 7 回 「セルフ・ディベ ート」
10	「実用的な文章 を書こう」	【知識及び技能】 実用的な文章について適切に理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 論理的な思考ができています。 【学びに向かう力、人間性等】 実用的な文章を適切に扱おうとしている。	教科書 P 82～93	第 7 回	10/21	第 1 3 ・ 1 4 回 「実用的な文章を書 こう」	第 8 回 「文章の『型』・ 構成 ノ 第 9 回 「テーマ型小論文の 実際」 ート」
10	「通信文を使い こなそう」	【知識及び技能】 手紙の書き方のきまりを適切に理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 適切な表現をもとに通信文を書いている。 【学びに向かう力、人間性等】 通信文を適切に実用しようとしている。	教科書 P 52～59	第 8 回	11/5	第 1 5 ・ 1 6 回 「手紙の書き方を学 ぼう」	第 32 回 「言語活動【書く】 短い論文を書いて読 み合おう」
11	「文章を観賞し よう」	【知識及び技能】 文章表現を適切に理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 様々な文章の特性を味わうことができています。 【学びに向かう力、人間性等】 論理的に考えをまとめようとしている。	教科書 P 128～135	第 9 回	11/18	第 1 7 ・ 1 8 回 「様々な文章を味わ おう」	第 6 6 回 「言語活動【書く】 資料を活用して論述 しよう」
11	「エッセイを書 こう」	【知識及び技能】 効果的な表現を身につけられている。 【思考力、判断力、表現力等】 論理的な思考ができています。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の体験を適切に表現しようとしている。	教科書 P 168～181	第 1 0 回	12/2	第 1 9 ・ 2 0 回 「エッセイを書こ う」	第 8 2 回 「言葉の扉・的確に 表現するために」
12	「論理的に考え をまとめよう」	【知識及び技能】 文章の論理性について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 論理的な思考ができています。 【学びに向かう力、人間性等】 論理的に考えをまとめようとしている。	教科書 P 94～107	第 1 1 回	12/16	第 2 1 ・ 2 2 回 「論理的に文章をま とめてみよう」	第 7 2 回 「言語活動【書く】 資料を活用して論述 しよう（4）」
1	「自分の考えを 適切に発表しよ う」	【知識及び技能】 文脈に応じた表現ができています。 【思考力、判断力、表現力等】 論理的な思考ができています。 【学びに向かう力、人間性等】 論理的に考えをまとめようとしている。	教科書 P 65～79	第 1 2 回	1/7	第 2 3 ・ 2 4 回 「自分の考えを適切 に発表しよう」	第 7 8 回 「言語活動【読む】 やさしい日本語」

令和7年度 東京都立新宿山吹高等学校 通信教育実施計画

教科	国語	レポート通数	1 2	対 象	主に2年次以降の生徒
科目	古典探究	必要面接指導時数／実施時数	4 / 2 4		
単位数	4	試験	前期・後期 各1回		

教科書	高等学校 標準古典探究（第一学習社）
学習書等	なし
その他	なし

○教科（国語）の目標

知識及び技能	生涯にわたる社会生活において、必要となる国語の特質を理解し、適切に使うことができる。
思考力・判断力・表現力等	生涯にわたる社会生活において、批判的思考を働かせて自分の思いや考えを広げたり深めたりし、伝えることができる。
学びに向かう力、人間性等	言葉の価値を理解して言語感覚を磨き続けるとともに、言葉を通じて他者と関わり、思いや考えを深めていこうとする態度を身に付けている。

○科目（古典探究）の目標

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
・古典における文法事項や漢文法を適切に理解し、古文・漢文の読解を適切に行うことができる。 ・文学史的な背景を理解し、我が国の言語文化についての理解を深められている。	・古典文学について適切に理解し、その古典に書かれている時代背景や作者の考え等について深く思考することができている。	・古典を学ぶことを通して、我が国の言語文化について深く想いを巡らせることができている。 ・古典を学ぶことで、教養を深め、現代社会を生きる生徒自身の生き方等に考えを深めることができている。

○ 評価の方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
添削課題の取組、定期試験	添削課題の取組、定期試験	添削課題の感想欄の記述 自由課題の提出

※ 単位の修得は、定められた通数のレポートに合格し、必要面接指導時数を満たし、学期末の定期試験を受験した上で、各観点の目標の達成状況が十分と判断されれば認められる。各観点の達成状況は上記の評価に基づいて評価する。

○年間指導計画

月	単元	単元の具体的な指導目標	教科書・学習書 該当ページ	添削 課題	提出 期限	面接指導	メディア利用 (NHK高校講座)
5	古典読解の基礎を理解する	【知識及び技能】 古文における単語の分類や、歴史的仮名遣いなどを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 古典を学び言語に対する考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 言語と文化の関わりに興味を持つ。	教科書 P16～17	第1回	5/20	第1回 「用言の活用」 第2回 「助動詞の活用」	第2回 「古今著聞集」
5	古典文学を味わう	【知識及び技能】 文学史的な教養を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 古典文学を読み味わう 【学びに向かう力、人間性等】 様々な文章表現に興味をもつ。	教科書 P26～27	第2回	6/3	第3回 「徒然草を読む」 第4回 「兼好の思想」	第4回 「徒然草」
6	漢文の訓読	【知識及び技能】 漢文を適切に訓読する。 【思考力、判断力、表現力等】 漢文を通して、社会に対する知見を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 漢文が日本語に与えた影響を適切に理解しようとしている。	教科書 P144～145	第3回	6/17	第5回 「漢文の訓読」 第6回 「朝三暮四」	第8回 「列子」
7	古典文学への理解を深める	【知識及び技能】 古典文法を適切に理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 古典を読み、古典作品について、現代の視点から批評をすることができる。	教科書 P42～45	第4回	7/1	第7回 「竹取物語①」 第8回 「竹取物語②」	第12回 「竹取物語」
7	古文の読みを深める	【知識及び技能】 用言の活用や、文法的意味合いを適切に理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 古文の的確な読みから考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 古文の世界における人間観などを理解する。	教科書 P36～37	第5回	7/15	第9回 「伊勢物語」 第10回 「大鏡」 第11回 「物語の役割」	第19回 「大鏡」

7	漢文の読みを深める	【知識及び技能】 漢文を適切な文法理解を基に読解する。 【思考力、判断力、表現力等】 漢文を通して、考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 漢文と現代の社会を関連付けながら学ぶ。	教科書 P186～195	第6回	7/31	第12回 「項羽と劉邦」 第13回 「漢文の世界観」	第24回 「史記」
10 11	歌や物語の世界を楽しむ。	【知識及び技能】 古典作品を根拠を基に適切に読み解ける。 【思考力、判断力、表現力等】 古典作品を通して、自身に対する考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 文学作品を様々な視点から読み解こうとしている。	教科書 P68～75 P123～125	第7回 第8回	10/21 11/5	第14回 「和歌の世界」 第15回 「歴史物語を読む」 第16回 「平家物語を読む」	第9回 「万葉集」 第21回 「平家物語」
11	漢文の読みを深める	【知識及び技能】 漢文を適切な文法理解を基に読解する。 【思考力、判断力、表現力等】 漢文を通して、考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 漢文と現代の社会を関連付けながら学ぶ。	教科書 P157～161	第9回	11/18	第17回 「漢詩の世界」 第18回 「日本の漢詩」	第17回 「中国の詩」 第18回 「日本の詩」
12	言語と文化の関わりを学ぶ	【知識及び技能】 様々な古今の文章を読み解くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 言語を適切に使って、より深い考えを表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 言語と文化の関わりから、社会の在り方を考える。	教科書 P112～113 P151～153	第10回 第11回	12/2 12/16	第19回 「更級日記」 第20回 「源氏物語の需要」 第21回 「漢文の世界」 第22回 「漢文の需要」	第31回 「更級日記」 第15回 「十八史略」
1	古典文学作品を深く読む。	【知識及び技能】 古典作品を根拠を基に適切に読み解ける。 【思考力、判断力、表現力等】 古典作品を通して、自身に対する考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 文学作品を様々な視点から読み解こうとしている。	教科書 P94～97	第12回	1/7	第23回 「源氏物語の文法」 第24回 「源氏物語の世界」	第32回 「源氏物語」